

資料5 常滑市新市民参画推進計画（23項目）

NO.	担当部署	全体の取組項目			全体の取組内容	平成21年度の取組計画	平成21年度の成果等	評価	備考 (評価が△×の場合の今後の取組等)
		みづくりの仕組	市民参画の拡充	地域加入促進の推進					
1	市民協働課	みづくりの仕組	市民参画の拡充	地域加入促進の推進	町内会の活動や重要性についてチラシや広報紙で啓発	同左	窓口で転入者に対し加入案内のチラシを配布・説明を行った。また、HPに詳しい内容を掲載し町内会の重要性を啓発している。	○	-
2	こども課	みづくりの仕組	市民参画の拡充	進世代間交流の推進	幼保育園における世代間交流を推進 ①世代間交流 老人施設入所者、在宅老人、老人クラブ会員との交流 ②異年齢交流 中高生、未就園児との交流	各園で年6～8回招いたり、招かれたり、交流を様々な方法で行う。	世代間交流事業を、三和南、鬼南、常石、小北の各保育園で実施した。異年齢交流に事業については、鬼北、鬼南、西南の各保育園で実施し、成果を上げた。	○	-
3	生涯学習課	みづくりの仕組	市民参画の拡充	進世代間交流の推進	幅広い世代が集い意見交換ができる機会を検討	まちづくり講座の参加者を確保し、事業を実施する。	実施に向けて検討したが、今後実施しない方針となった。	○	-
4	秘書広報課	みづくりの仕組	情報の共有	行政情報の積極	広報紙等のわかりやすい情報提供を推進	見やすいレイアウト、わかりやすい表現に努める	平成19年度に字のポイント数をあげるなどのレイアウトの変更を実施。本年度もそのレイアウトに沿って編集作業を進めた。行政用語など分かりにくい表現については担当課と協議し、わかりやすい表現に改めるよう努めた。	○	-
5	秘書広報課	みづくりの仕組	情報の共有	市民からの提供	広報紙やインターネットホームページに市民からの情報を掲載	市民からの情報を掲載する「みんなのコーナー」について、今後も積極的に利用してもらうよう働きかける。また、ホームページでは、「即時更新」「情報量などの多さ」などの利点を活かした情報提供を行う。	平成21年度にはイベントなどの告知を行う「伝言板」には103件、自分たちのグループを紹介するグループ紹介では2組の紹介を行った。また一部の情報については、ホームページのイベント情報などに掲載したり、記者クラブへパブリシティした。	○	-
6	秘書広報課	みづくりの仕組	情報の共有	市民からの提供	市の公共施設で市民が作成したチラシの配布やポスターを掲示	広い情報掲示スペースと多くの人を利用する公民館や図書館などの公共施設を活用し、市民が望む情報（ポスター、チラシ）を発信する。	スペースなどの問題で一部できないこともあったが、市民から掲載依頼のあったポスターやチラシは市の施設に掲示・配置した。また、一部の情報は記者クラブなどを通じてパブリシティを行った。	○	-

NO.	担当部署	全体の取組項目			全体の取組内容	平成21年度の取組計画	平成21年度の成果等	評価	備考 (評価が△×の場合の今後の取組等)
		テ N イ P ア O との 協ラ 働ン	協働の 体制 づくり	美ラ 化ム 活に 動よ のる 拡環 充境 グ					
7	生活環境課	テ N イ P ア O との 協ラ 働ン	協働の 体制 づくり	美ラ 化ム 活に 動よ のる 拡環 充境 グ	広報紙やインターネットホームページに活動内容等を紹介して啓発するとともに里親を募集する。	同左	市ホームページで啓発した結果里親募集実績は、平成21年度末実績で71団体3,988人が登録された。	○	-
8	市民協働課	テ N イ P ア O との 協ラ 働ン	協働の 体制 づくり	と職員 連携の 意識 強化 改革	NPOやボランティアに関する職員研修会を実施	県職員によるNPOについての講話やNPOとの協働に向けた取り組みについての講義。また、市内NPO法人による活動発表。	市外と市内のNPO法人に講師を依頼し、「事例から考える協働の進め方について」及び「景観を保存するNPO活動について」をテーマに研修会を実施し、28人が受講した。	○	-
9	市民協働課	テ N イ P ア O との 協ラ 働ン	協働の 体制 づくり	と職員 連携の 意識 強化 改革	NPO・ボランティア講座等への職員の派遣	受講の機会を捉え、積極的に参加する。	県社会活動推進課主催のNPO研究会へ参加(計3回) ・6月16日 あいちNPO交流プラザ ・10月16日 大府市市民活動センター ・2月22日 犬山市市民活動センター	○	-
10	市民協働課	テ N イ P ア O との 協ラ 働ン	協働の 体制 づくり	と職員 連携の 意識 強化 改革	ボランティア活動への職員の自主的な参加を促進	ボランティア活動について、自主的参加をPRしていく。	・公民館の自主事業(いも大学)開催のためボランティアを募集。職員にもボランティア情報を提供した結果、6名の参加があった。	○	-
11	市民協働課	テ N イ P ア O との 協ラ 働ン	協働の 体制 づくり	と職員 連携の 意識 強化 改革	NPOやボランティアとの協働に関する担当者間の連絡調整会議等を実施	市民講座や研修会の機会を捉え、NPOと関連部署担当者が意見を交換できる場を設ける。	市ボランティア連絡協議会総会(4月26日)において、情報交換や意見聴取を行った。	○	-
12	市民協働課	テ N イ P ア O との 協ラ 働ン	協働の 体制 づくり	用補 助金 の有 効活	エ まちづくり事業費補助金の情報を提供	広報とこなめ及び市ホームページにより情報提供する。	広報とこなめ2月号及び市ホームページにより情報を提供し、市民及び各団体等へ広く周知した。結果15件の申請があり、うち4件が新規事業であった。	○	-
13	市民協働課	テ N イ P ア O との 協ラ 働ン	市民 活動 支援	り活 動の 拠点 づく	市社会福祉協議会と連携を図り、NPOやボランティアの交流を推進	市社会福祉協議会と連携して、NPOやボランティアが交流できる機会を設定する。	・ボランティア交流会として、前島をウォーキングしながらの清掃を実施。(10月11日) ・知多市のボランティアと交流会を実施(2月21日)	○	-

NO.	担当部署	全体の取組項目			全体の取組内容	平成21年度の取組計画	平成21年度の成果等	評価	備考 (評価が△×の場合の今後の取組等)
		テ N イ P ア O との 協ラ 働ン	市民 活動 支援	育 啓 成 発 活 動 と 人 材					
14	市民協働課	テ N イ P ア O との 協ラ 働ン	市民 活動 支援	育 啓 成 発 活 動 と 人 材	市民を対象としたNPO・ボランティア講座、リーダー養成講座を開催	市民が参加しやすいテーマを設定し講座を開催。市民への啓発を図る。	NPO市民講座(12月5日)を開催した。 ・講師「樫尾治良」 ・テーマ「ボランティア活動に参加希望を持つ人材の発掘」 ・参加者 22人	○	-
15	生涯学習課	テ N イ P ア O との 協ラ 働ン	市民 活動 支援	育 啓 成 発 活 動 と 人 材	ボランティアコーディネーター養成講座へ市民や職員を派遣	・県主催の養成講座の参加者確保に努める。	参加者確保に努めたが、受講者を派遣できなかった。	×	県主催の養成講座の参加者確保に努める。
16	生涯学習課	テ N イ P ア O との 協ラ 働ン	市民 活動 支援	育 啓 成 発 活 動 と 人 材	青少年のボランティア体験活動を推進	・年5回、関係各課等から情報収集を行い、ボランティア機会を提供する。 ・夏休み期間中に、社会福祉協議会などでボランティア活動の機会を提供する。 「夏休みボランティア体験スクール」	・中学生、高校生に対し、活動場所紹介を行った。 (43回207人) ・福祉施設など23ヶ所で中学生、高校生を対象に実施した。 (延べ398人)	○	-
17	市民協働課	テ N イ P ア O との 協ラ 働ン	市民 活動 支援	フと相   情 談 ク 報・ 紹 の ネット 充 実 ト 介 実 ト 窓 口	市社会福祉協議会の「ボランティア・市民活動支援センター」による相談・紹介窓口の利用促進及び情報ネットワークの拡充を支援	広報紙やホームページを使い相談・窓口の利用促進及び情報ネットワークの拡充を支援。	相談・紹介窓口の利用促進及び情報ネットワークの拡充を支援した。 ・相談件数 2件 ・市民活動支援サイトアクセス数 2,100件	○	-
18	市民協働課	テ N イ P ア O との 協ラ 働ン	市民 活動 支援	フと相   情 談 ク 報・ 紹 の ネット 充 実 ト 介 実 ト 窓 口	ボランティア等が一堂に会するイベントの開催を支援	市社会福祉協議会と連携して、広報紙やホームページを活用してPRなどで支援する。	NHKのハートフォーラムにあわせて福祉大会を開催。ボランティア団体の参加を募った。 入場者数1,500~2,000人	○	-
19	こども課	テ N イ P ア O との 協ラ 働ン	市民 活動 支援	う市問 仕 民 題 組 が を 共 み 支 有 づ 援 す く し る り 合	子育て支援センター事業を推進 子育て支援に携わっている団体、子育てに関して優れた識見を有した個人、及び関係部署の職員で組織する「とこなめ子育て支援協議会」で子育て支援事業を実施する。	とこなめ子育て支援協議会と協働し、子育て支援事業を推進する。	協議会の全体会、役員会を各2回開催し、次のような成果を上げた。 ・広報とこなめに年3回情報等を掲載。 ・しとねるサポーター養成講座を年3回開催、計47名参加。 ・「市長さんと話そう」を開催。16組参加。	○	-

NO.	担当部署	全体の取組項目			全体の取組内容	平成21年度の取組計画	平成21年度の成果等	評価	備考 (評価が△×の場合の今後の取組等)
		とNPOの協働	市民活動支援	り支援し合う仕組みづくりが					
20	福祉課	とNPOの協働	市民活動支援	り支援し合う仕組みづくりが	モデルケースによる仕組みづくりを支援 障がい児(者)が住み慣れた地域で安心 できる支援体制づくりを構築するために自 立支援協議会を設置。 委員として、医師会、薬剤師会等のほか NPO法人代表、障がい者等親の会代表 者、障がい者支援施設及び障害福祉 サービス事業者、相談支援事業者、雇用 関係者等で設置した。	19年8月より設置 21年度より協議会運営について、さらに 充実を図る。	自立支援協議会及び作業部会を開催し た。 自立支援協議会2回 作業部会8回 協議会運営の充実を図った。	○	-
21	市民協働課	とNPOの協働	市民活動支援	録ポ のラ 推 進 テ ィ ア 登	市社会福祉協議会が推進するボランティア やボランティア講師の登録及び援護を 必要とする人の登録を支援	広報紙やホームページなどを活用し登録 の促進に努める。	ホームページにおいてボランティア活動を 啓発。ボランティア連絡協議会に、新たに 1団体の登録があった。	○	-
22	市民協働課	とNPOの協働	市民活動支援	進ポ 保 険 の テ ィ ア 加 入 促 活	市社会福祉協議会によるボランティア活 動保険の啓発及び加入促進を支援	広報紙やホームページなどを活用し啓発 及び加入促進に努める。	・市社協のホームページから県社協のボ ランティア保険のページに移行するリンク を設け、理解が進むよう努めた。 ・ボランティア活動保険加入人数 1,116人(H22.3.31現在)	○	-
23	市民協働課	とNPOの協働	市民活動支援	仕をN 組しP みやO のすへ すくの 検く寄 す付 る	基金の設置を検討	更なる市内NPOの実態の把握に努め基 金設置に向けた取り組みについてあいち 県民交流プラザ、先進地の事例などの情 報収集を行い検討する。	未実施。	×	研究会等各種会議において、先進 地の基金設置に向けた取り組みに ついての情報収集を行い検討す る。